

「第2期富山広域連携中枢都市圏ビジョン（2026改訂版）（案）」について

1 事業費について実績を反映

具体的取組（32頁～）の各連携事業の事業費について、実績額や見込額等を更新。

2 事業内容等の見直し

（1）事業内容の見直し

①「TOYAMAキラリ」を活用した教育普及事業（45頁）

小学校からの要望により、市立図書館でのプログラムを終了し、ガラス美術館に特化した事業内容に変更

→ 事業内容の変更にあわせ、事業名を変更

〔現行〕「TOYAMAキラリ」を活用した教育普及事業

〔改訂後〕ガラス美術館を活用した教育普及事業

②SDGs推進事業（56頁）

現役のSDGsサポーター・推進コミュニケーターの活動を強化する内容に変更

〔現行〕SDGs推進コミュニケーターの養成

〔改訂後〕SDGsサポーター・推進コミュニケーター向けの研修等の実施

（2）重要業績評価指標（KPI）の見直し

①オーバード・ホール（中ホール）を核とした住民参加型イベント開催事業（47頁）

実績にあわせ指標及び目標値を変更

〔現行〕住民参加型イベントに出演する芸術文化団体数 目標 50 団体

〔改訂後〕住民参加型イベントの出演者数 目標 60 人

②社会インフラの老朽化対策推進事業（53頁）

実績にあわせ目標値を変更

〔現行〕研修会の参加職員数 30 人

〔改訂後〕 同 40 人

3 事業の廃止：とやま経営実践塾開催事業（34頁）

担当講師の高齢化により、令和7年度から事業の継続が困難になったことに伴い、事業を廃止する。

※ 連携事業は1減の計24事業となる。